

# PGT-A施行胚移植にて妊娠 出産に至らなかった症例の漢 方学的治療の有効性について

小柳良子 小林正知 髭友希 森中美友 川本真 羽瀨さゆき  
濱田亜紀 桑原聖子 安田和代 園田桃代  
医療法人桃花会 園田桃代ARTクリニック

## 緒言

- PGT-Aにて正倍数性胚の移植を行っても妊娠出産に至らない症例が存在し、その後の治療方針に苦慮することも多い。そのような症例において漢方治療介入を行ない不妊治療における漢方薬の有効性を検討した。

## 方法

- 当院にて反復流産または反復着床不全の診断にてPGT-A施行後正倍数性胚盤胞移植を行い妊娠に至らなかった症例で漢方治療を開始し妊娠成立した5症例について漢方外来初診時の症状や漢方的診断、妊娠の有無について後方視的に検討した。

症例①	
年齢	39歳
妊娠歴 (PGT-A開始前)	G2P0SA2
PGT-A適応理由	反復流産 夫婦染色体異常なし
漢方開始前の正倍数性胚盤胞の移植回数	1回 (流産)
内膜炎治療の有無	なし
他併用治療	なし
漢方診断 初診時症状	中間証 脾虚 冷え 瘀血 頭痛 肩こり むくみ 冷え
処方内容	桂枝茯苓丸 (移植前) 当帰芍薬散 (移植後) 柴苓湯
漢方開始後のET回数 (PGT-A施行胚;正倍数性胚盤胞)	1回
漢方内服開始から妊娠までの期間	5か月
妊娠転帰	満期で出産

症例②	
年齢	41歳
妊娠歴 (PGT-A開始前)	G2P0SA2
PGT-A適応理由	反復流産 夫婦染色体異常なし
漢方開始前の正倍数性胚盤胞の移植回数	2回 (hCG < 2.0)
内膜炎治療の有無	なし
他併用治療	アスピリン (漢方開始後)
漢方診断 初診時症状	中間証 脾虚 冷え 瘀血 水滞 頭痛 めまい 肩こり 冷え むくみ
処方内容	桂枝茯苓丸 柴苓湯 六君子湯
漢方開始後のET回数 (PGT-A未施行胚含む)	4回
内服開始から妊娠までの期間	16か月
妊娠転帰	流産 (B判定胚移植);子宮内容除去術施行 治療 終結

症例③	
年齢	37歳
妊娠歴 (PGT-A開始前)	G0P0
PGT-A適応理由	反復着床不全
漢方開始前の正倍数性胚盤胞の移植回数	1回 (化学流産)
内膜炎治療の有無	あり (上記化学流産後)
他併用治療	タクロリムス (上記化学流産後より)
漢方診断 初診時症状	虚証 脾虚 瘀血 血虚 便秘 頭痛 肩こり
処方内容	温経湯
漢方開始後のET回数 (PGT-A施行胚;正倍数性胚盤胞)	1回
内服開始から妊娠までの期間	6か月
妊娠転帰	満期で出産

症例④	
年齢	38歳
妊娠歴 (PGT-A開始前)	G0P0
PGT-A適応理由	反復着床不全
漢方開始前の正倍数性胚盤胞の移植回数	1回 (hCG < 2.0)
内膜炎治療の有無	あり (PGT-A施行前)
他併用治療	タクロリムス (上記PGT-A施行胚移植時内服) アスピリン
漢方診断 初診時症状	虚証 冷え 水滞 冷え めまい 頭痛 便秘
処方内容	当帰芍薬散
漢方開始後のET回数 (PGT-A施行胚;正倍数性胚盤胞)	1回
内服開始から妊娠までの期間	3か月
妊娠転帰	化学流産 現在ART中 (PGT-A実施なし)

症例⑤	
年齢	30歳
妊娠歴 (PGT-A開始前)	G0P0
PGT-A適応理由	反復着床不全
漢方開始前の正倍数性胚盤胞の移植回数	2回 (化学流産 流産)
内膜炎治療の有無	あり (上記の流産後)
他併用治療	なし
漢方診断 初診時症状	虚証 脾虚 冷え 瘀血 水滞 気滞 下痢 頭痛 むくみ 月経痛 気力低下 不安 めまい
処方内容	人参湯 当帰芍薬散
漢方開始後のET回数 (PGT-A施行胚; B判定胚)	1回
内服開始から妊娠までの期間	12か月
妊娠転帰	現在妊娠継続中

## まとめ

- 年齢中央値：38歳 (30-41歳)。
- 漢方診断：虚証3例、中間証2例、瘀血4例、脾虚4例、冷え3例、水滞3例、血虚1例、気滞1例 (重複あり)。
- 漢方外来初診時に全例有症状であった。
- 漢方治療開始後2例は満期にて出産、現在妊娠継続中1例で、1例は化学流産、1例は稽留流産後治療終結。
- 漢方開始後から妊娠までの中央値期間6か月 (3-16か月)。

## 結語

- 不妊原因は複合的であるがPGT-Aを行っても妊娠出産に至らない場合母体自身の不調を正す漢方アプローチは不妊治療の一助となる。

### 第68回日本生殖医学会学術講演会 利益相反状態の開示

©小柳良子 小林正知 髭友希 森中美友 川本真 羽瀨さゆき  
濱田亜紀 桑原聖子 安田和代 園田桃代  
医療法人桃花会 園田桃代ARTクリニック